



積極的な支援で、奈良を元気にする

主担当部局：地域振興部



奈良県・市町村長サミット

目指す姿

市町村が行財政問題をはじめとする地域の課題を解決するため、県・市町村の協働取り組みなど積極的な支援を行い、奈良県を元気にします。



● 地域に最適な地方行政の仕組み
(奈良モデル) の実現に向け検討し、

● 市町村財政の

実行

します。

健全化

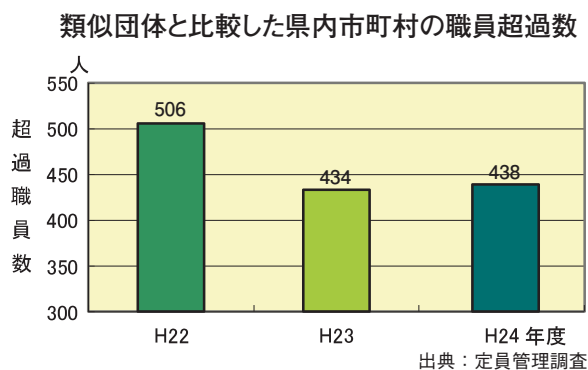
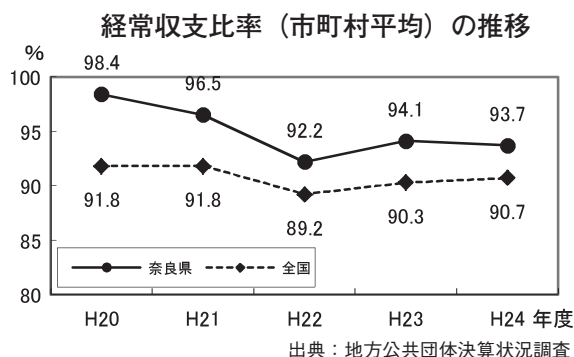
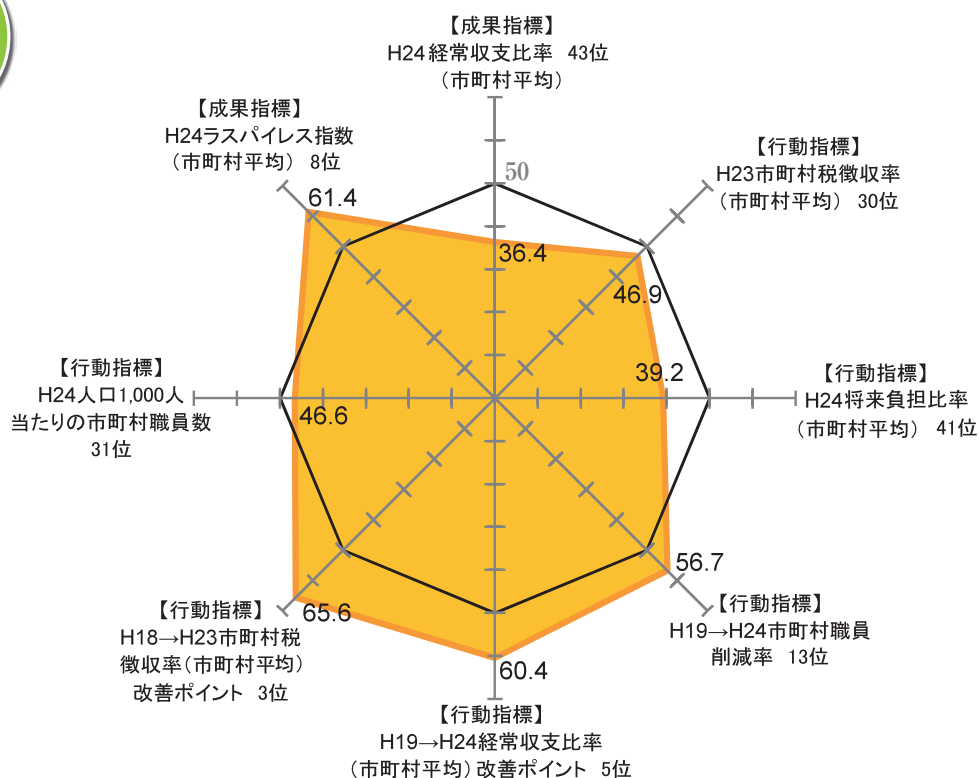
(経常収支比率(市町村平均) 全国
ワースト10からの脱却)を図ります。

(平成24年度経常収支比率(市町村平均)
:全国ワースト5位)

現 状

分析

■ 主な指標



- 平成24年度の経常収支比率 (市町村平均) は、平成19年度に比べて2.8ポイント改善し、全国で5番目の高さでした。
- 平成23年度の市町村税徴収率 (市町村平均) は、平成18年度に比べて2.2ポイント改善し、全国で3番目の高さでした。
- 平成24年度の類似団体と比較した県内市町村の職員超過数は、平成23年度より4人増加し、民生・衛生・教育部門で超過しています。

戦略1

「奈良モデル」の実現に向けて、県と市町村の役割分担を踏まえた水平補完・垂直補完等の連携を推進します。

主担当課：地域振興部 市町村振興課

目標

▶平成21年度に取りまとめた県と市町村の役割分担の方向性に基づき、奈良県という地域に最適な県と市町村の連携のあり方を検討し、順次実現します。

取り組み

「奈良モデル」実現に向けた新たな取り組みを検討し、支援

「奈良モデル」の具体的な事業を検討し、支援



消費生活相談窓口



道路橋梁点検

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
「奈良モデル」実現に向けた新たな取り組みを検討し、支援				
◎市町村等における広域連携に向けた調査・検討への支援	進捗状況とりまとめ	具体的な事業ごとに支援		
◎県と市町村の役割分担を踏まえた事業について個別に推進		具体的な事業ごとに推進		
◎「奈良モデル」検討会による新規取組事業の掘り起し		新規取組を発掘		
◎「奈良モデル」推進補助金等による新たな広域連携への支援		「奈良モデル」推進補助金等を活用した事業実施		
「奈良モデル」の具体的な事業を検討し、支援				
◎市町村税の税込強化の推進	体制整備等の実施準備	先進地事例の情報共有による充実を図りながら実施		
◎市町村橋梁の管理支援	市町村の計画策定完了工事の進捗確認としてテストケース実施	具現化に向けた協議・取組の実施		
業務共同化（中和10市町村）	実施準備		段階的に実施	
◎水道運営の連携 上記以外		具体化検討		
◎市町村国民健康保険のあり方検討		具現化に向けた協議・取組の実施		
◎公共交通機能の改善	公共交通施策の実施			
	基本計画の検討・策定		新たな公共交通施策の実施	

戦略2

市町村の行政経営向上への取り組みを支援します。

主担当課：地域振興部 市町村振興課

目標

- ▶ **経常収支比率(市町村平均)全国ワースト10を脱します。**
(平成24年度：奈良県93.7% 全国ワースト5位)
- ▶ **市町村税徴収率(市町村平均)を全国平均まで引き上げます。**
(平成23年度：奈良県92.1% 全国平均93.7%)
- ▶ **市町村職員数を全国類似団体レベルまで引き下げます。**
(平成24年度：全国類似団体と比較した県内市町村の職員超過数438人)

取り組み

市町村行財政健全化に向けた重点的・集中的な支援

市町村の課題について協働で解決策を検討

市町村が独自に取り組む施策を支援

研修等による市町村職員の人材育成の支援

市町村と行財政情報を共有し、勉強会を開催

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市町村行財政健全化に向けた重点的・集中的な支援				
◎市町村が有する高金利地方債の繰上償還への支援		補助及び貸付を実施		
◎行財政状況に課題のある市町村へ重点的・集中的に支援	課題の分析・明確化	改善に向け重点的・集中的に助言・指導		
◎「市町村税・県税の一斉滞納整理強化期間」の取組	全市町村で実施	実施方法見直しによる改善		
◎個人住民税の特別徴収推進支援	取組開始	未実施事業所に対する指導		
◎市町村財政健全化研修会の開催		研修会の実施		
市町村の課題について協働で解決策を検討				
◎地域別・テーマ別懇話会の開催	葛城・西和・大和高原(東吉野)で実施	意見交換等の実施(地域の拡大検討)		
◎地方公営企業新会計制度導入フォローアップ		新会計制度の運用支援		
市町村が独自に取り組む施策を支援				
◎がんばる市町村応援表彰開催		行政経営改革の顕著な市町村に対し表彰		
◎活力あふれる市町村応援補助金の交付		意欲ある市町村に交付		
◎自治会の取組への支援		自治会活動への支援		
◎コミュニティ助成等自治総合センターなどの助成金の交付		市町村からの応募申請に基づき交付		
研修等による市町村職員の人材育成の支援				
◎実務研修員の受入		市町村職員の受入		
◎政策自慢大会の開催	第1回開催	市町村職員による発表(発表者拡大検討)		
◎市町村職員向け各種研修(財政、地域イベント、政策法務、監査等)の実施	実施・新規研修検討	市町村職員向け研修会の実施		
市町村と行財政情報を共有し、勉強会を開催				
◎知事・市町村長との合宿勉強会	準備	実施	実施	実施
◎奈良県・市町村長サミットの開催		意見交換会、勉強会等の実施		
◎地域別・テーマ別懇話会の開催(再掲)	葛城・西和・大和高原(東吉野)で実施	意見交換等の実施(地域の拡大検討)		
◎地域支援員の活動		市町村等との密接な連絡調整の実施		

戦略3 市町村の現状分析や情報提供を通じた支援を行います。

主担当課：地域振興部 市町村振興課

目標

▶ 市町村の行財政状況などをわかりやすく分析、公表し、市町村の行財政運営の改善につなげます。

取り組み

行財政情報を分析し、分かりやすい資料として公表

市町村へ情報提供し、健全な競争意識を醸成



奈良県市町村政策自慢大会

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
行財政情報を分析し、分かりやすい資料として公表				
◎市町村の行財政状況を分析し、提供（グラフ化、図表化等ビジュアルな資料の充実）	提供資料の内容充実（グラフ化・図表化）			
市町村へ情報提供し、健全な競争意識を醸成				
◎「あなたのまちの財政状況」冊子による情報提供	市町村の財政状況を分かりやすく冊子にし、情報提供			
◎市町村地域経営ハンドブック作成・情報提供		作成・情報提供	活用	
◎政策自慢大会の開催（再掲）	第1回開催	市町村職員による発表（発表者拡大検討）		
◎知事・市町村長との合宿勉強会（再掲）	準備	実施	実施	実施
◎奈良県・市町村長サミットの開催（再掲）	意見交換会、勉強会等の実施			
◎地域別・テーマ別懇話会の開催（再掲）	葛城・西和・大和高原（東吉野）で実施 意見交換等の実施（地域の拡大検討）			
◎地域支援員の活動（再掲）	市町村等との密接な連絡調整の実施			

これまでの成果

地域に最適な地方行政の仕組み(奈良モデル)を目指し、**県と市町村の役割分担のあり方**を考え、**その実現に向けた検討**を行いました。

- ・消防の広域化
- ・南和地域の医療提供体制の充実
- ・情報システム共同化
- ・消費生活相談窓口の設置・運営の共同化
- ・道路橋梁・トンネルの点検・長寿命化修繕計画策定及び補修工事の県受託など順次実現しています。

市町村が抱える課題に対応するため、知事と市町村長による意見交換(奈良県・市町村長サミット)を定期的に行うなど、**県・市町村協働での検討**を実施しました。(平成25年度:奈良県・市町村長サミットを5回開催(平成26年1月末現在))

市町村の行財政改善に向け、助言を行いました。(経常収支比率(市町村平均) 平成24年度:93.7%[ワースト5位] 平成23年度:94.1%[ワースト5位] 平成22年度:92.2%[ワースト4位] 全国類似団体職員超過数 平成24年度:438人 平成23年度:434人 平成22年度:506人)

市町村の税収強化について、県・市町村協働での取り組みを強化し、**徴収率が向上**しました。(市町村税徴収率(市町村平均) 平成24年度:92.8% 平成23年度:92.1% 平成22年度:91.5%)

県民にわかりやすい市町村の**行財政状況の公表**を行いました。(平成19年度決算分より実施)

主な指標の動き

よくなっている指標

◆市町村経常収支比率(市町村平均)

98.6%(全国ワースト1位)[H19] → 93.7%(全国ワースト5位)[H24]

- ・経常収支比率(市町村平均)は改善しており、全国順位も上がってきていますが、県内市町村の財政状況は依然厳しい状況です。

◆市町村税徴収率(市町村平均)

89.9%(全国41位)[H18] → 92.1%(全国30位)[H23]

- ・各市町村が徴収強化に努め、市町村税徴収率(市町村平均)は改善し、全国順位も上がってきていますが、依然全国平均を下回っています。

変化が見られない指標、低下している指標

◆ラスパイレス指数(市町村平均)

91.9(全国6位)[H19] → 101.8(全国8位)[H24]

- ・平成24年度のラスパイレス指数(市町村平均)は、国家公務員が同年度から給与減額を実施したことに伴い、数値は高く(悪化)なっていますが、全国の中では引き続き低い給与水準を保っています。